

兵庫県で回収された死亡野鳥から高病原性鳥インフルエンザウイルスの検出が続いています！

兵庫県伊丹市で3月1日以降に回収された死亡野鳥(ハシブトガラス)から高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5N6亜型)の検出が続いています。

3月25日に回収された個体でも簡易検査によりA型鳥インフルエンザ陽性となり、確定検査が行われています。

★野鳥等：確定事例（3都県44事例）全てH5N6亜型

場所	回収日	種名	羽数
島根県松江市	11/5～12	コブハクチョウなど	7
東京都大田区	1/5	オオタカ	1
兵庫県伊丹市	3/1～25	ハシブトガラス	36 (検査中2羽)



●家きん：確定事例（1県1事例）H5N6亜型

場所	確定日	種名	飼養羽数
香川県さぬき市	1/11	肉用鶏	約9.1万羽

鶏、あひるなど家きん飼養者の皆様へ

- ・引き続き、防鳥ネットなど発生予防対策の徹底をお願いします。
- ・カラスの餌になるようなものを家きん舎周辺に放置しないで下さい。
- ・家きんに異常が見られた場合は、すぐに当所までご連絡下さい。